

部局名	都市整備部	所属名	土木建設課	所属長名	新谷 等	電 話	483-1151 内線3620
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3312		事務事業名称	河川総務事業						短縮コード	経常	3312	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	03	河川費	目	01	河川総務費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等	河川法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
河川事業に係る総括的な事務														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	6本の柱（章）	04	第4章安心安全都市をめざして					
河川関連業務に係る総括的な事務なので取り巻く状況は変わらない。また、今後も継続していく必要がある。							大項目（節）	02	第2節市民の安全					
							中 項 目	01	1. 防災					
							小 項 目	03	(3)都市防災対策の推進					
							細 項 目	02	②河川の整備					
						実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	河川関連業務に係る総括的な事務							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 河川関連業務に関わる事務：負担金，電気料金の支払い等							
	※平成24年度に計画していること： 河川関係業務に関わる事務：負担金，電気料金の支払い等							
意図 （何を狙っているのか）	河川関連業務の円滑な遂行							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	事業費	千円	2, 617	1, 528	1, 469	1, 492	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	執行予算額	千円	2, 617	1, 528	1, 469	1, 492	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	執行額	千円	2, 617	1, 528	1, 469	1, 492	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3312	事務事業名称	河川総務事業		所属名	土木建設課	
			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	2, 616	1, 528	1, 468	1, 492	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳		需用費 1, 156千円	使用料及び賃借料 986千円	使用料及び賃借料 986千円	使用料及び賃借料 986千円		
	人件費 (B)		千円	559. 4	545. 6	549. 8	549. 8	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)		千円	3, 175. 4	2, 073. 6	2, 017. 8	2, 041. 8		

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由								
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		「河川総務事業」は上位の施策である「都市防災対策の推進」を推進するために重要な事業である。								
			☐ 結び付くが見直しの余地がある										
			☐ 結びつきが弱い・ない										
			☐ 評価対象外事項										
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		河川関連事務の円滑な遂行を図るため、今後も継続する必要がある。								
			☒ 達成していない										
			☐ 評価対象外事項										
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		河川関連事業の総括的な事務のため、可能性はない。								
☒ 可能性はない													
☐ 評価対象外事項													
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		目的の変更はなく、現状の対象と意図で結果に結びつくことが出来る。									
		☐ 見直す必要がある											
		☐ 評価対象外事項											
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		河川関連事業の総括的な事務のため、現時点では可能性がない。								
			☐ 効率性向上の可能性はある										
			☐ 両方可能性はある										
			☒ 可能性がない										
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等											
		☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用											
		☐ I T 化等の業務プロセスの見直し											
		☐ 受益者負担の見直し											
		☐ 類似事業との統合・役割見直し							類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
		☐ 上記以外の方法									2		実施主体 (所管部署)
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある											
		☐ ない											

コード	3312	事務事業名称	河川総務事業			所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			河川関連業務を適切に遂行していく。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			河川等を適切に管理していくため、成果は不変である。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							
特になし							

所属長コメント	河川関連業務の円滑な遂行のため、今後も継続する。						
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続		担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。				
	☐ 手法プロセスの改革・改善						
	☐ 事業規模の拡大・縮小						
	☐ 統合・役割見直し						
☐ その他							
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☒ 現状のまま継続							